

2020年12月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社アエリア
JASDAQ(3758)
2020年8月28日

1. 2020年12月期 第2四半期業績報告
2. セグメント別トピックスのご報告
3. 今後の経営方針について

2020年12月期 第2四半期 業績報告

売上高 : 14,077百万円（前年同期比 2.3%減少）
 営業利益 : 154百万円（前年同期比 91.6%減少）
 EBITDA : 864百万円（前年同期比 63.8%減少）

トピックス

コンテンツ事業

コロナウイルス感染症の拡大によりイベント等の延期・中止に伴い収益が伸びず、またソフトウェア開発費・償却費増加により、減収減益。

ITサービス事業

ファーストペンギンのアフィリエイト広告収益の縮小に伴い減収減益。

アセットマネージメント事業

コロナウイルス感染症の拡大により新規案件の獲得ができず、費用の支出が先行したことにより営業利益が減少。

2020年12月期 業績見通し

売上高 : 26,000百万円（前期比 8.3%減少）
 営業利益 : 500百万円（前期比77.9%減少）
 EBITDA : 1,430百万円（前期比64.0%減少）



2020年12月期 第2四半期業績報告

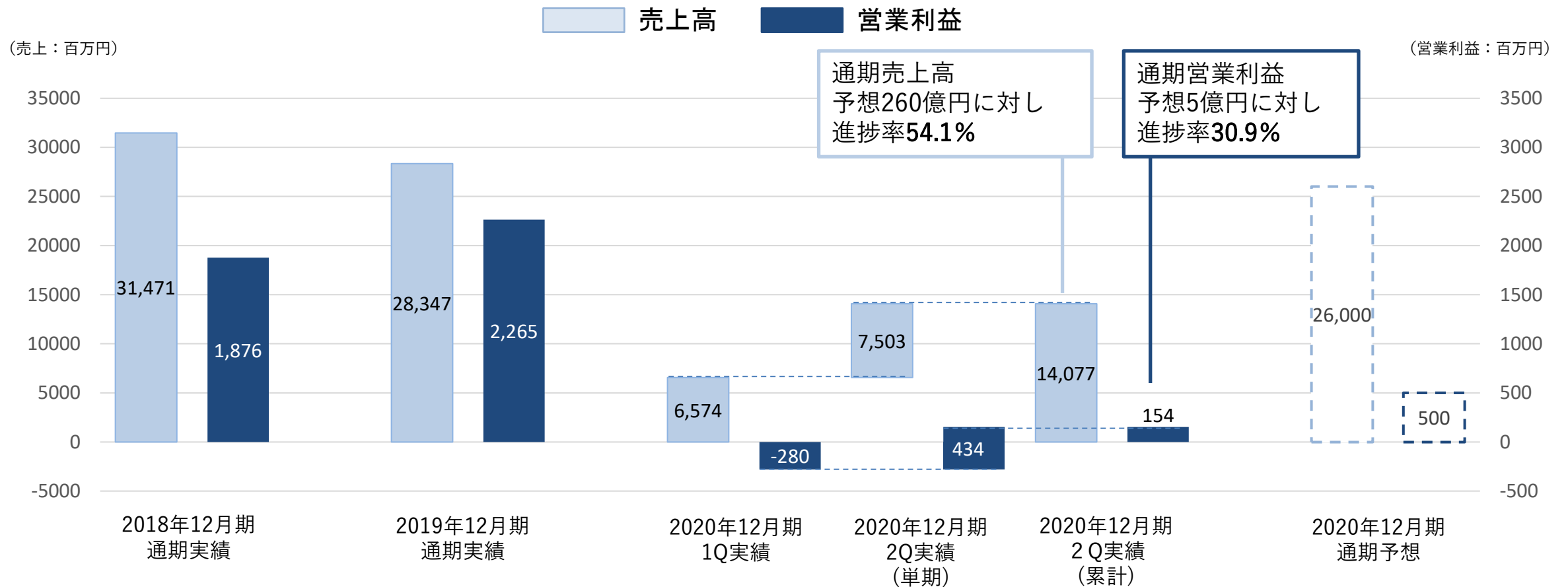
売上高は14,077百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は154百万円（前年同期比91.6%減）、EBITDAは864百万円（前年同期比63.8%減）となりました。

連結経営成績及び前年同期との比較

単位：百万円（百万円未満切り捨て）	2020年12月期 第2四半期累計	2019年12月期 第2四半期累計	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	14,077	14,404	△326	△2.3%
売上総利益	5,037	6,769	△1,732	△25.6%
販売費及び一般管理費	4,882	4,923	△40	△0.8%
営業利益	154	1,846	△1,692	△91.6%
経常利益	97	1,745	△1,648	△94.4%
税金等調整前四半期純利益	△4,029	1,605	△5,635	△350.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△4,311	1,044	△5,355	△512.8%
EBITDA （営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）	864	2,388	△1,524	△63.8%

コロナウイルス感染症の影響下でのコンテンツ事業のイベント中止等により、2020年12月期通期では減収減益の見込みも、第一四半期と比較して業績は回復傾向にあります。

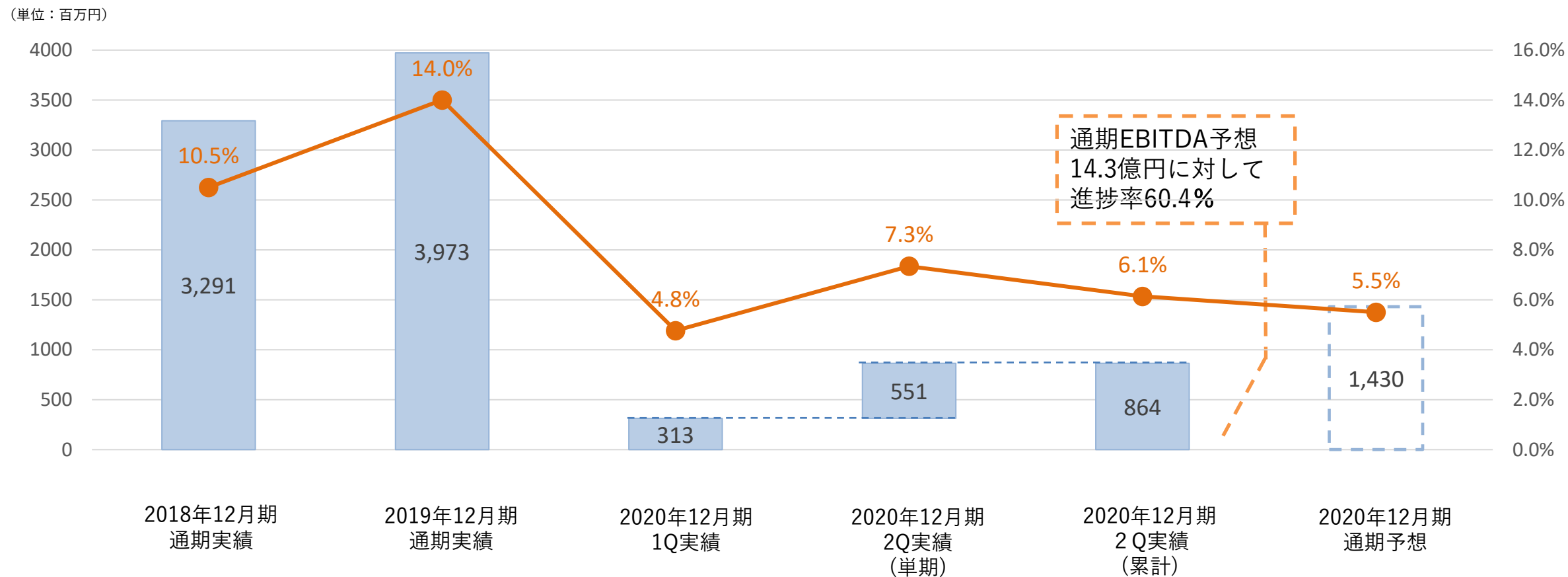
売上高・営業利益推移



今期のEBITDA及びEBITDAマージン率は低下。

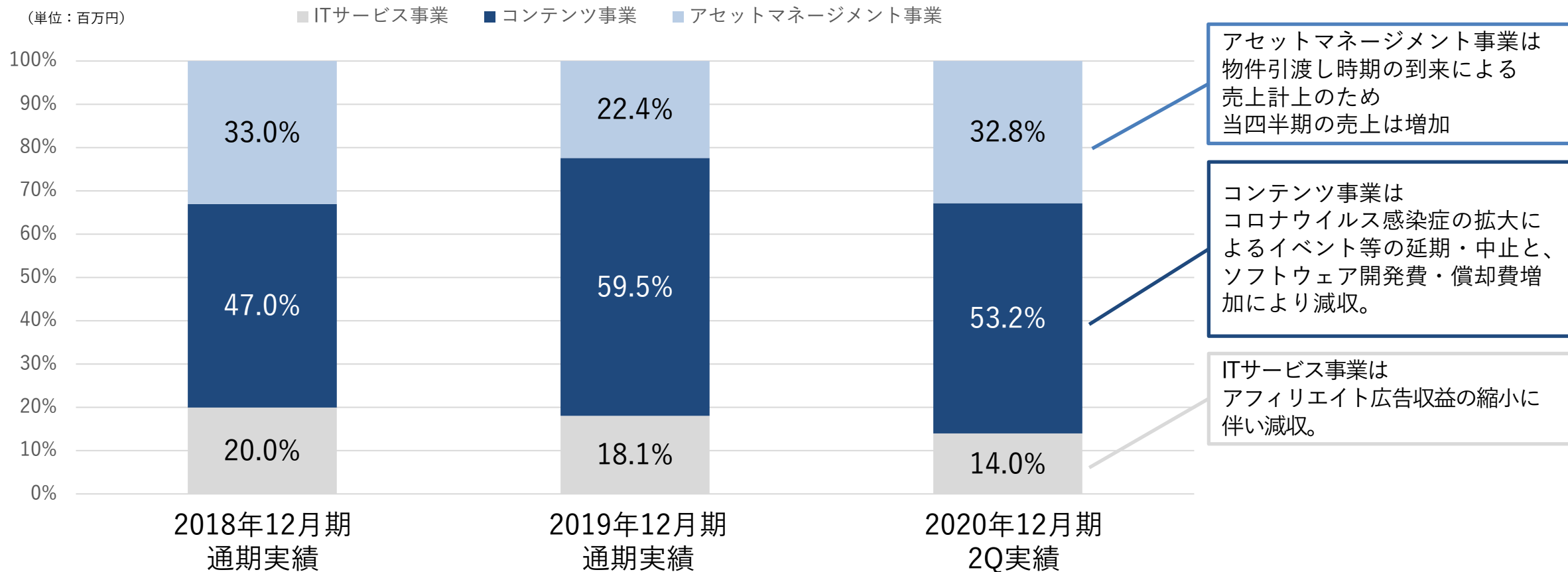
不採算タイトル・事業の整理、開発費等の固定費削減、償却減により収益性を高めて参ります。

EBITDA・EBITDAマージン率推移



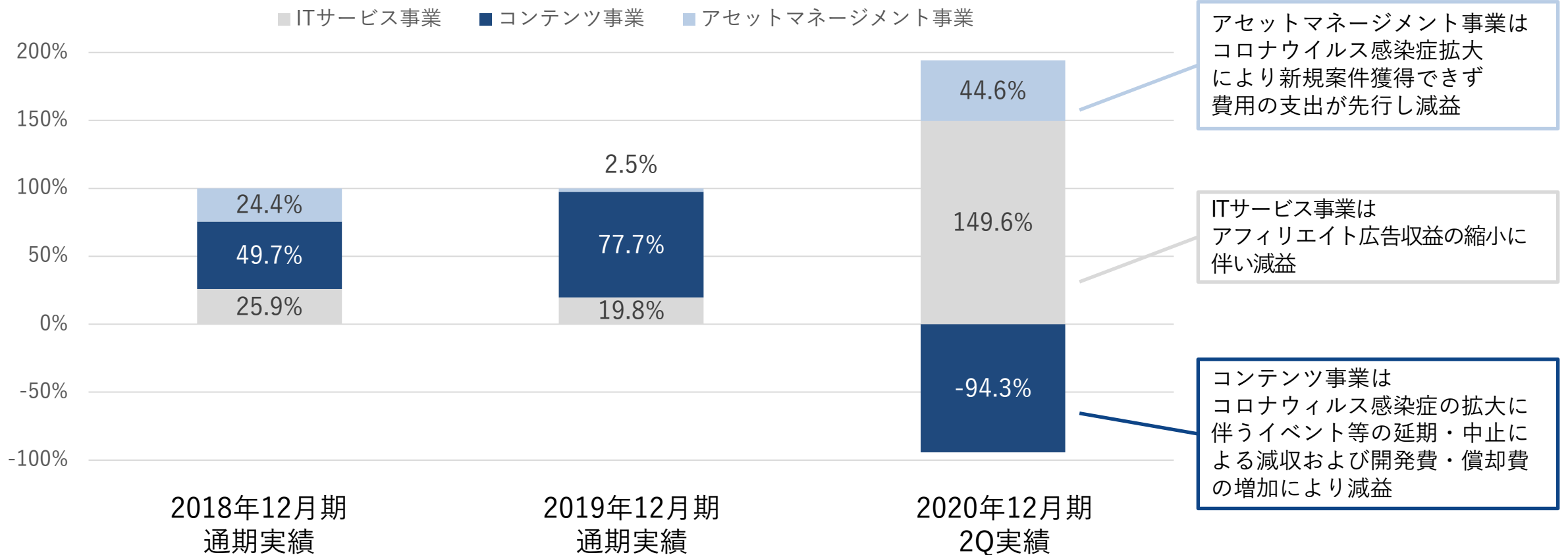
アセットマネジメント事業は物件引渡しに伴う売上計上により当四半期の売上が増加。
今半期ではITサービス事業、コンテンツ事業の割合が低下しました。

セグメント別通期売上高割合推移（各期の売上高=100%）



各事業とも減益となった一方で、コンテンツ事業の損失をITサービス事業・アセットマネジメント事業がカバーする結果となりました。

セグメント別通期営業利益割合推移（各期の営業利益=100%）



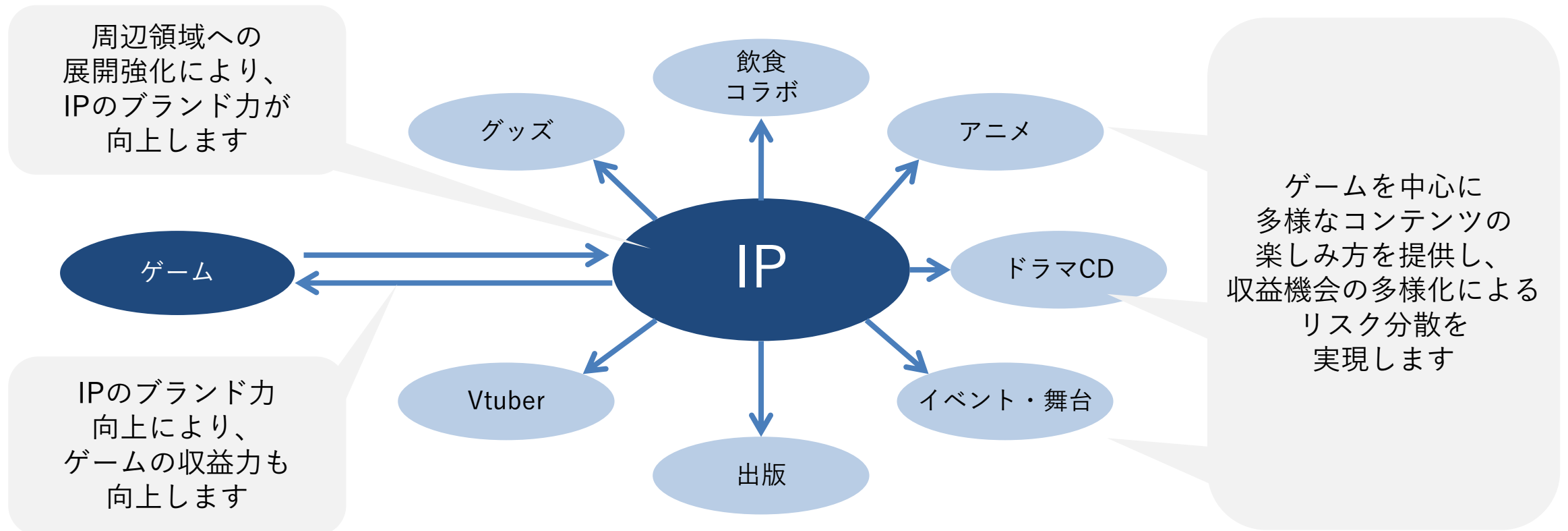
単位：百万円（百万円未満切り捨て）	2020年6月末	2019年12月期	備考
流動資産	16,198	19,978	借入金の返済等に伴う現金及び預金の減少、ITサービス事業の決済事業・広告事業の売掛金減少、アセットマネジメント事業の棚卸資産の減少
固定資産	3,804	8,810	減損損失計上に伴うソフトウェアおよびのれんの減少
資産合計	20,003	28,788	
流動負債	6,975	10,458	短期借入金の返済による減少、1年以内返済予定の長期借入金の増加、決済代行事業に関する預り金の減少
固定負債	3,604	4,067	長期借入金の返済等による減少
負債合計	10,579	14,526	
純資産合計	9,423	14,261	減資及び四半期純損失
自己資本当期純利益率（ROE）	△37.4%	11.5%	
総資産経常利益率（ROA）	0.4%	7.7%	
自己資本比率	45.6%	48.4%	
一株あたり純資産（BPS）	397.48円	602.66円	
単位：百万円（百万円未満切り捨て）	2020年6月末	2019年6月末	備考
営業活動によるCF	△532	969	
投資活動によるCF	△24	△537	
財務活動によるCF	△1,447	△1,578	



セグメント別トピックスのご報告

コンテンツ事業内においてもゲーム以外のポートフォリオが大幅に拡大。
ゲーム周辺のIPビジネスを強化し、安定した収益基盤の構築を進めて参ります。

ゲームから広がるコンテンツビジネス



サイバードの「イケメンシリーズ」は長期展開のタイトルを多数リリース。
ファンの根強い支持、女性向けゲーム市場のポジションを獲得し、安定した収益基盤に。

サイバード 「イケメンシリーズ」



- ・シリーズ開始から8周年。全世界でのシリーズ累計会員数3,000万人を突破！
- ・「イケメンシリーズ」初の公式ファンクラブ『イケメンシリーズファンクラブ（通称：IFC）』を3月17日より開始！
- ・8周年記念作品となる最新タイトル『イケメン王子 美女と野獣の最後の恋』の事前登録を4月10日より開始。
- ・海外配信は、北米、台湾、香港、マカオ、マレーシアなどの地域にタイトル計9本を展開中！
- ・『イケメン戦国◆時をかける恋』の人気キャラクター明智光秀が京都府福知山市のPR武将に就任！

イケメンシリーズ最新作のリリース、8周年施策、有名IPを用いた新規検定の実施など、新たな収益の源泉獲得とIPビジネスの展開を推進。

イケメン王子 美女と野獣の最後の恋



- シリーズ累計会員数3,000万人を誇る「イケメンシリーズ」8周年記念最新作。事前登録は10万人を突破！
- 2020年7月1日配信開始。
- 主題歌「あなたをただ愛している」はDo As Infinityが担当。

イケメンシリーズ8周年



- 「デート」をテーマにした8周年記念特設サイトを2020年8月8日にオープン！
- IFCダイヤモンド会員特典追加。
- 4タイトルのアプリ内で描きおろしイラストのスチルを配布。
- 2つのSNSキャンペーンを実施。

検定事業



- 30年間以上、子供たちから絶大な人気を誇る児童書の決定版「かいつゾロリ」初となる検定を2020年7月2日より開始。
- 受験記念グッズや公式認定証に加え、作品に登場するチョコレートのお城を実際に再現した特別なお菓子を特別賞として授与！

サイバードは、自社IPや他社IPを活用し、デジタル・リアル問わず、ファンとの接点の場（より多くの“面”でより多くの“時間”）を多方面に広げています。

ゲームアプリ以外の様々な取り組み



オリジナルシールを作成できる、オンデマンドシールアプリ「ペたっときゃら」の配信を開始



ドリンクやグッズを自動販売機で販売する「自由販売機」本格始動

ライツ事業では、商品販売、ネットくじやCD化、リアルイベント実施、様々な企業や地域とのコラボレーション等、ゲーム以外にも顧客/ファン満足度を醸成する取り組みを、自社IP/他社IP問わず、積極的に推進しています。



特別展示会「時をかける◆イケメン戦国武将展」開催決定



「スカーレッドライダーゼクス10th Anniversaryくじ」開始決定

リベル・エンタテインメントの「A3!」は、配信開始から3年目に突入。
アニメ放映も展開し、ユーザーに長く愛されるIPブランドを確立してまいります。

リベル・エンタテインメント社 『A3!』



- ・ 2020年6月に**700万**ダウンロードを突破！
- ・ iOSセールスランキング**最高2位**、Androidセールスランキング**最高7位**！
- ・ 2020年1月及び4月～6月にTVアニメ『SEASON SPRING & SUMMER』を放映、**人気を博す**！
- ・ TVアニメ『SEASON AUTUMN & WINTER』も2020年10月から**放映予定**！
- ・ 2.5次元舞台のMANKAI STAGE『A3!』初のライブも**2020年9月開催決定**！

リベル・エンタテインメントの『CUE!』『アイ★チュウ Étoile Stage』においても、IP創出による周辺ビジネスへの展開を推進しております。

『CUE!』



- 自社開発タイトル第4弾。2019年10月配信開始！
- CUE! Team Singleの発売を記念して、店頭抽選会も今後随時実施！

『アイ★チュウ Étoile Stage』



- 前作となる『アイ★チュウ』は130万DLの人気作！
- 2020年7月より
メインストーリー第二部配信スタート！
- 第二部主題歌シングルも発売決定！

2020年1月27日に『A3!』はサービス開始3周年！
 全国アニメイト及び池袋PARCOでMANKAIカンパニーの特集号『Spotlight』を配布！
 新キャストを加えたメインストーリー第三部前半も配信！



天鷲絨BOOK STORE（イメージ）



演劇誌『Spotlight』表紙

リベル・エンタテインメント待望の新作『アイ★チュウ ÉtoileStage』を
2020年4月30日に配信開始！ 駅広告やTV CMも展開！

We are on our way to the stage. The road to spotlights has many turns.
Tears, sweat, pain... a lot of difficulties will force us to stop. But we move forward.
Could you come with us, producer?

アイ★チュウ
ÉTOILE STAGE

Twitter
@ichuES_official

Official Web site
www.ichu-es.jp

App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう

星のようにきらめく
アイドル育成ゲーム
配信スタート！

LIBER

池袋駅オレンジロード、なんば駅御堂筋ジャンボ展開広告



今後の経営方針について

採算性の高い優良案件にリソースを集中させると共に、
施策の内製化等により、無駄打ちの少ない柔軟な事業開発・事業運営を目指します

	選択と集中	採算性の改善
既存事業・ 既存タイトル・ 既存施策	積極的な損切り IPの知名度等によらず、費用対効果が見込まれないものは早期に中止・撤退	段階的な施策 - 新規事業や新規タイトルでは、極力細かい単位で投資し、仮説検証型で開発 - 費用対効果が見込まれない案件へのリソースのつぎ込み過ぎを防ぐ
新規事業・ 新規タイトル・ 新規施策	優良案件の見極め 新規タイトルを開発する場合は、ゲームを中心に、様々な形態に展開可能なコンテンツを優先	より安く実行 - 外注は高コストでPDCAにも不向き。 - グループ内での連携を強め、短期間・低価格で柔軟に施策等を実行できる体制を構築

安定収益を生み出す事業ポートフォリオを持ち、足元の収益性向上に取り組みつつ、成長性の高い領域に積極的に展開して参ります。

1

変化の激しい社会情勢下でも成長性を高めるため、安定収益を生み出す事業ポートフォリオ構成を実現する。

2

事業セグメント内、事業セグメント間におけるシナジーを創出する。

3

各子会社ごとに収益性の向上に取り組むとともに、各社の業績及びグループ寄与度を踏まえたグループ再編等も行う。

4

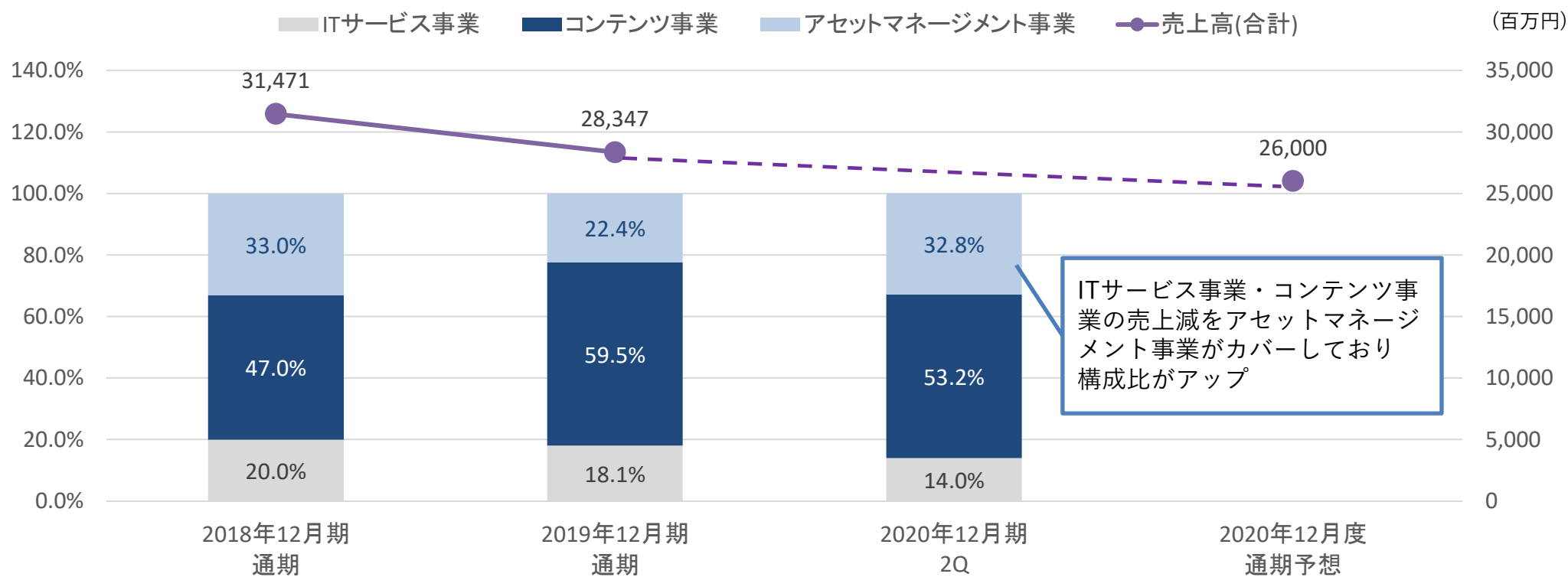
グループ内の事業資産を活かし、成長マーケット領域へ事業を積極的に展開する。

5

資本参加や合併会社の設立などを通じて、社外の事業資産を活用する。

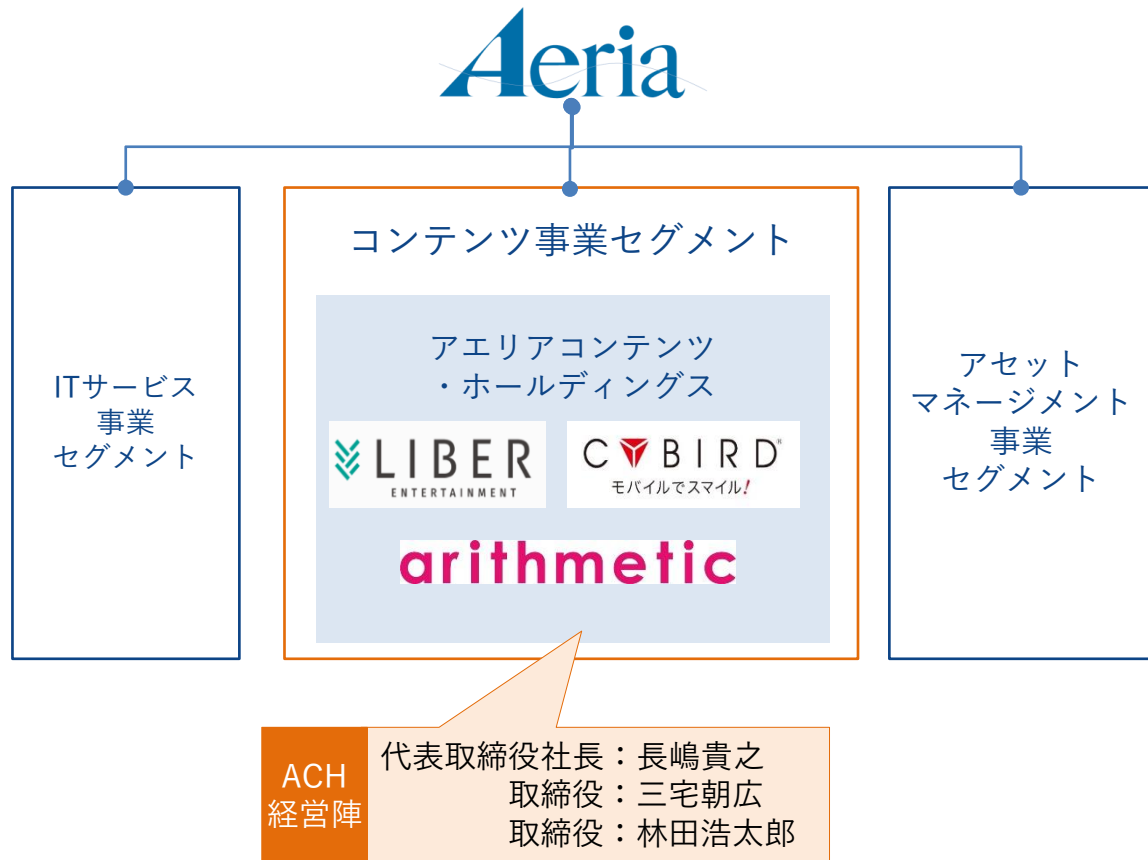
アセットマネジメント事業が、コンテンツ事業・ITサービス事業の売上減をカバー。
引き続き、特定の事業領域へ依存しない、変化に強い経営体制の構築を目指します。

セグメント別売上高割合推移



アエリアコンテンツ・ホールディングス（ACH）を中心として、引き続き傘下3社のノウハウ・リソースを活用し、一層のシナジー創出に努めてまいります。

アエリアコンテンツ・ホールディングス概要図

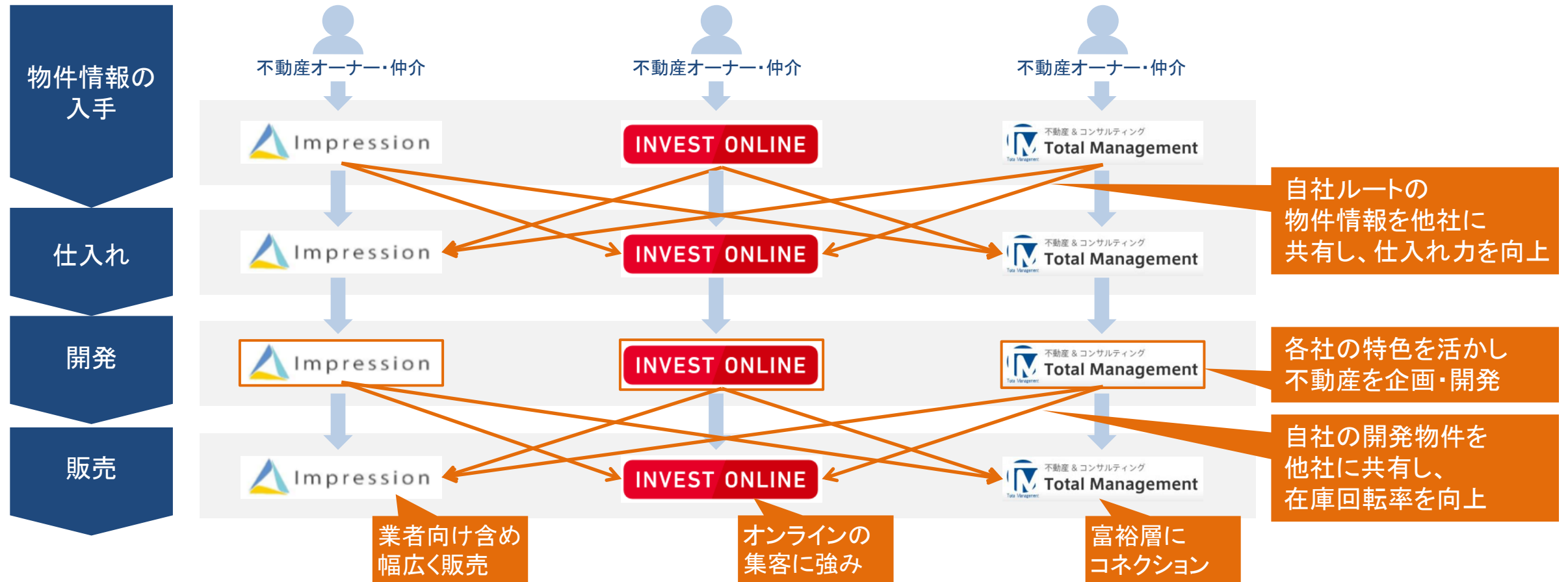


シナジー創出の進捗状況

✓	サイバードのコーポレート機能を活かし、ACH及びアエリアグループの管理体制を強化。
✓	円滑な開発体制、最適な事業運営体制構築のため、ACH内で人材の最適配置を実施中。
✓	人的交流を通じた各社間のナレッジの共有を推進中。
✓	サイバード提供のネットくじに、アリスマティックのIPを活用する等、事業面におけるシナジーを促進中。

不動産会社の各社の仕入れ・販売ルートを共有することで、開発力を最大限に発揮させて参ります。

仕入れ・販売ルートの共有化



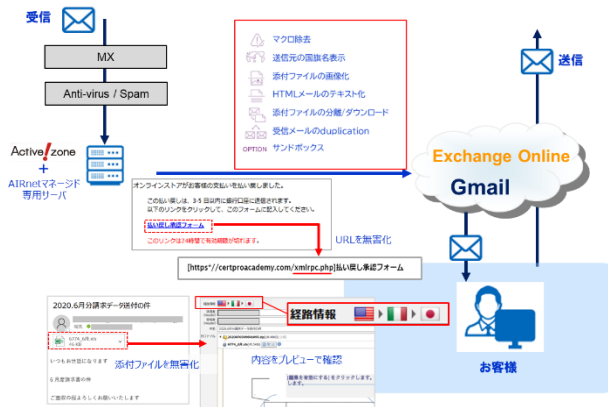
テレワークの進展に伴い、セキュリティ対策の強化を求められる企業様向けの機能・オプションを拡充し、新規獲得ならびに既存顧客のアップセルを目指します。

MDMアプリケーション



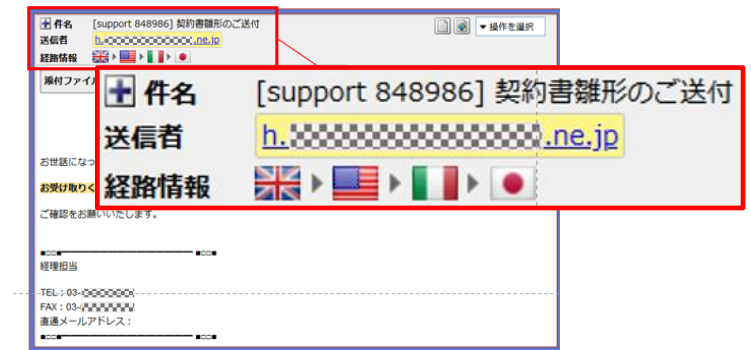
- 多くの企業でスマートフォン、タブレットを移動時のメール業務等のテレワーク用デバイスとして利用
- 携帯端末のセキュリティ管理
(MDM：Mobile Device Management)は企業の喫緊の課題。
- 端末紛失時のリモートロック等のセキュリティ対策を実現

「Active! zone」ホスティングサービス



- 近年、標的型メール攻撃は巧妙化しウイルス対策ソフトでの対策は限界
- 受信者が不審に思えない内容でのメールでの攻撃も発生
- 在宅ワークの浸透と共に利用が増えている各種クラウドメールサービスと連携し、セキュリティ攻撃の無害化ソリューションを提供。

国別経路情報表示オプション



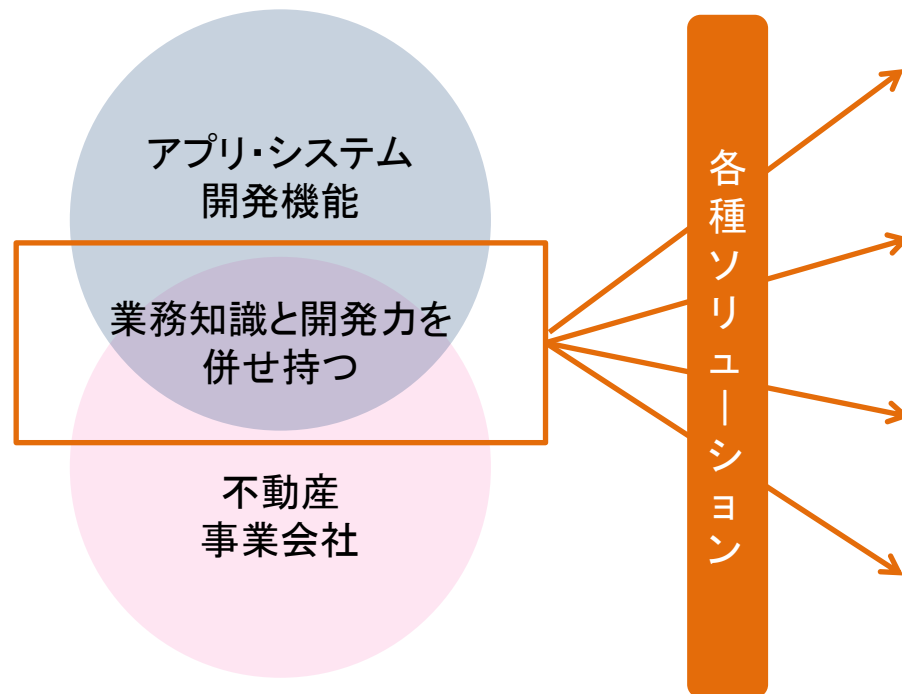
※Webメールは株式会社クオリア社の「Active! mail」を採用しております

- 標的型メールには、テレワーク環境を狙った「Web会議への招待メール」等も存在。
- eメールがどの国を経由してきたかを視覚化でき、不審なメールを直感的に判別できるソリューション

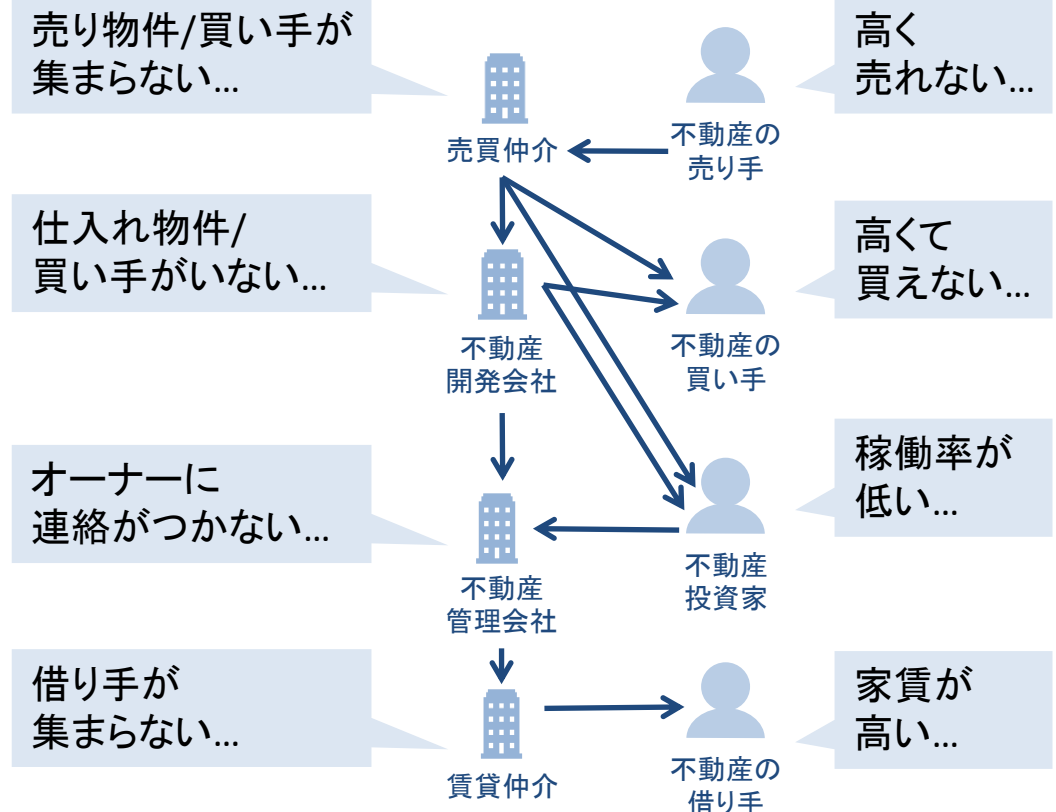
不動産事業会社とアプリ・システム開発機能を持つ強みを活かし、
従来の不動産業務を変革するProp Tech(不動産テック)事業を展開します

アエリアグループ事業アセットを活用した不動産事業の課題解決

アエリアグループ事業アセット



不動産業界の課題例



ネットワーク社会における空気のように必要不可欠な存在へ



JASDAQ(3758)

株式会社アエリア

〒107-0052 東京都港区赤坂3-7-13 赤坂HMビル4F